

自分事に考え実行！

溺水予防

0～1歳は浴槽で、5歳以上は屋外で溺れています

屋内

入浴していないとき

- ・子どもが1人で浴槽に近づかないための工夫（例：浴室の扉の、子どもの手が届かないところに鍵をかけるなど）をする
- ・残し湯をしない



入浴に関して

- ・子どもだけで入浴させない
- ・髪を洗うときなど、大人が子どもから目を離すときには、子どもは浴槽から出す
- ・首浮き輪などは入浴中に使わない

入浴補助の「便利グッズ」ではありません

屋外

- ・大人も子どももライフジャケット

救助者の溺水もなくす

- ・大人の手が届く範囲で遊ばせて（touch supervision）、目を離さない（keep watch）

- ・川や海の危険についてよく学び、事前に気象情報を確認する



川…一見浅く穏やかな流れのようにみえても、急に深くなったり、流れが速くなることがあります

海…遊泳禁止や離岸流に要注意！

普段は目を離してもよい環境づくりが大事。でも、子どもが水に接するときには ……

必ず大人はこうしましょう

手の届く範囲で、目を離さないようにしましょう！

子どもは溺れるとき静かです
溺れてしまうのは一瞬です



（大平智子）